



2001年01月08日

コンセプトカー Microbus (マイクロバス)

コンセプトカー Microbus (マイクロバス)

偉大なる伝統に敬意をこめて未来のデザインを研究

ウォルフスブルグ / デトロイト、2001年1月8日

フォルクスワーゲンは、北米インターナショナル モーターショーにおいて、コンセプトカー“Microbus (マイクロバス)”を世界で初めて発表致しました。この未来のバス(日本での通称:タイプ2)は、主に全米マーケット向けにカリフォルニア州にあるフォルクスワーゲンのデザイン スタジオで設計されました。オリジナルのバスが持つデザインに、数多くの革新的なアイデアを加えたこの“Microbus”は、初代フォルクスワーゲン バスが発表された1950年から続く、偉大なる伝統を継承しています。初代フォルクスワーゲン バスは世界的に成功を納め、特にアメリカ市場においては「マイクロバス」の名で愛され、熱狂的に支持されてきました。今回のデザイン スタディでは、このカリスマ的な存在感を再び表現するとともに、現代的な個性と自由さも表わされています。

伝説的な初代フォルクスワーゲン バスは、ビートルおよびニュービートルのデザイン同様、今なお広く知られ愛されているデザインですが、フォルクスワーゲンのデザイン チームは、チャレンジング スピリットによりかつてのバスを再現する事はしませんでした。彼らは独自のまったく異なるビジョンのもとに、偉大なる歴史に敬意を表しながら、新しいオリジナル フォルクスワーゲン(バス)を創造しようとしたのです。結果として革新的なカリフォルニアのデザイン チームは、見事にその目的を達成しました。“Microbus”が放つ独特の新しいビジョンは、細いラインのキセノン ヘッドライトが特徴的なフロント エンドや、サイド ウィンドウと大型スライディングドアのデザインなどに表現されています。スライディングドアは、ボタンを押すと電動で開閉します。また、ワイドなホイールアーチがダイナミックなエクステリアを強調しています。ホイールには特殊設計の20インチ アルミホイールが採用されています。

走行中のコミュニケーションを促進するハイテク インテリア

“Microbus”には3列のシートがあります。中央のシートは180°回転させることができ、3列めはベンチ シートタイプとなっています。全席にシートベルトが装備され、乗員の安全を確保しています。室内には、このようなインテリジェントな装備が豊富に取り入れられています。“Microbus”では映画も心ゆくまで楽しめます。映像はセンターコンソールに装備された7インチのスクリーン及び、1列めと2列めのシートバックに設置された4台のモニター、さらに2列めと3列めの間にある2つのディスプレイに映し出されます。

フロントのルーフ部分に設置されている7インチ スクリーンは、バックモニターとして利用することができます。両サイドにあるドアミラーとバックカメラによって、車両背後の視界は完全に確保されています。

“Microbus”のテクノロジーは、現時点でのフォルクスワーゲンに採用されているどのテクノロジーをも越える物です。たとえば、フロアアセンブリーは、まさに未来のクルマに匹敵するものです。また、最大トルク320 Nmのコンパクトな3.2リットル V6エンジンにも、革新的なテクノロジーが活かされています。

なお、このクルマの具体的な発売の時期、価格などについては未定となっています。